

大学連携 ～大学ってどんなところ？～

府立の工科高校（工学系設置3校）が大阪工業大学を訪問しました。入学して間もない1年生ですが、高校と大学の違い、特に大学のスケールの大きさに驚いていたようでした。特別講演や現役大学生の方によるプロジェクトのお話もいただきました。本校生徒も大学生に活発に質問するなど、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

特別講演&トークセッション



西川先生（学生部長）

にご講演いただきました。

大学生とのトークセッション

生徒たちの感想（抜粋）

特別講演について

- ・高校では出来ないことを、大学で実現しようということ。「夢を持とう！」というコンセプトがとても素晴らしいと感じた。
- ・「こんな事、あんな事、あったらいいなと思うものを何でもいいから自分で考え、それを実現できる場が大学」という言葉は、本当にその通りだなと思った。大学には何をしに行く場所が分からなかったのが、それがはっきりと分かったのが一番良かった。
- ・さまざまな学部学科があって、専門的で面白そうだなと思った。規模も大きく特に人工衛星製作はすごいと思った。

トークセッションについて

- ・興味を引き寄せる話であり、全ての活動が充実していて、やりがいがあって、興味深い話ばかりで、大学生に憧れを感じた。
- ・自学自習が大切で、自分のスキルを上げるために努力する考えが無かったので、ガイダンスで考え方が変わりました。
- ・山本さんの「勉強はやったもん勝ちで、やればやるだけ帰ってくる」という言葉が印象的でその通りだなと思った。
- ・工業系の大学は普通の部活以外に、プロジェクトがあり、仲間と協力してものをつくり、自分たちで考える。自分もしてみたいと思いました。
- ・デザインを考えるのがややこしい作業が多いと知り、逆に興味が湧きました。